

## 夢見るホッケー教室 in 畝傍 実施報告書

1. 事業名 夢見るホッケー教室 in 畝傍
2. 期日 令和3年10月24日(日)
3. 会場 奈良県立橿原公苑テニスコート(フットサル兼用)
4. 事業内容

### (1) 参加者

畝傍ジュニアホッケークラブ(14名)  
奈良ホッケースポーツ少年団(27名)  
橿原市立畝傍中学校ホッケー部(33名)

### (2) 講師

シギ・アイクマン(サムライジャパン 日本代表ヘッドコーチ)  
中條 友博(サムライジャパン 日本代表アナリスト)

### (3) 運営

畝傍ホッケークラブ  
サポート 山口裕之(U18男子日本代表トレーナー)

### (4) 日程および内容

9:30~11:00 中学生の部

- ・ベーシックスキル(プッシュ、トラップ)
- ・グループパス(バタフライ)
- ・バタフライを意識した6対6ミニゲーム

11:00~12:30 小学生の部

- ・ベーシックスキル(プッシュ、トラップ)
- ・グループパス(バタフライ)
- ・バタフライを意識した6対6ミニゲーム

### (5) 成果

奈良県立橿原公苑テニスコートにおいて検温や手指消毒などの新型コロナウイルス感染予防対策を実施した上でホッケー教室を開催していただきました。前半は、奈良ホッケースポーツ少年団(中学生)と橿原市立畝傍中学校ホッケー部が参加した中学生の部そして後半は、畝傍ジュニアホッケークラブと奈良ホッケースポーツ少年団が参加した小学生の部とカテゴリー別に2部構成で指導をしていただきました。

オリンピックを率いたワールドクラスのコーチの登場に目を輝かせながらも緊張気味の子どもたちに視線を下げ一つ一つ丁寧に対話し心をつかみながら理論的な説明も上手く織り交ぜ、「ベーシックスキルの重要性」「常に動く意識を持つこと」「常に相手や味方を意識し見ること」などを学ぶことができました。

指導者にとっても子どもたちとの接し方、雰囲気盛り上げ方、理論的な説明の仕方などコーチングスキルにおいても学びの機会になりました。

子どもたちの質問に「ホッケーをする上で一番大切なことはなんですか？」に対し、「ホッケーを愛すること、楽しむこと！」と話されていたのが印象的でした。

最後に出国間際にも関わらず遠路、奈良までお越しいただきありがとうございました。またいつの日か日本にもどり子供たちや未来あるホッケープレイヤーの指導に携わっていただければ幸いです。良い機会を与えていただいたことに感謝致します。

